

V. 特記事項

1. 学生チャレンジプロジェクト

学生チャレンジプロジェクトは、平成 13(2001)年に始まった本学独自の制度で、「ものづくり」への情熱を学生の夢の実現へとつなげることを目的として、令和 6(2024)年度からは規程化し、制度として持続的に取組める体制となった。

本プロジェクトは、本学が推進する「実学教育」の一端として位置づけられており、学生が自らプロジェクトを企画し、製作場所の提供、材料費の支援、コンテストや大会参加費の補助などを通じて、実践的な学びの機会を提供している。

プロジェクト活動では、「ものづくり」をテーマに創造性豊かな取組みが進められており、社会に広く発信できる夢のある創作活動が行われている。また、近年は、SDGs などの社会課題の解決にも貢献する活動もあり、学生の社会的視野を広げるとともに、地域との関わりを通じて、創意工夫や問題解決能力を育むことにもつながっている。

令和 6(2024)年度は、水中探査ロボット、SDGs 視点による食品ロス削減、災害対応ロボット、菱野団地での多世代交流促進、新しいゲーム関連情報技術を取り入れたゲーム制作と東京ゲームショー 2024 への出展など、計 28 のプロジェクトが活動し、総額約 2,100 万円の支援が行われた。各プロジェクトの成果は、学内での報告会やステークホルダー向けの発表を通じて共有されているほか、本学ウェブサイト上でも情報発信を行っている。

また、同年度には、学生のモチベーションの向上と本学の社会的プレゼンス向上に資するため、表彰に関する規程を整備し、優れた成果を収めたプロジェクトを表彰した。

2. 名古屋電気学園 愛名会

「名古屋電気学園愛名会」は平成 9(1997)年に本法人創立 85 周年記念事業の一環として中部財界の主要企業の支援のもと発足し、現在の会員数は 1,385 社に達している。

SDGs を始めとする社会のニーズに応えた教育の実現と人材の育成、本法人の学術的文化的機能や情報の提供による社会への貢献および学生・生徒間のより有益な就職情報の交換交流などの事業活動を通じて、地元産業への振興、技術的発展の充実に努めている。

「名古屋電気学園愛名会」の主な本学に関わる活動は以下のとおり。

- ① 総会・講演会・懇親会の開催
- ② 「企業案内」の発行
- ③ 本学と共催で「学内企業展（企業研究会）」を開催
- ④ インターンシップ制度を活用して学生受け入れの積極的な斡旋を支援
- ⑤ 愛知工業大学同窓会と共催で「AIT 業種・仕事研究フェア」への支援
- ⑥ 本学の教育・研究事業の支援として「学生チャレンジプロジェクト」への助成
- ⑦ 設置校クラブ活動への支援

中でも、学内企業展(企業研究会)は、900 社を超える企業が参加しており、令和 7(2025)年度に就職した学生のうち、568 名が「名古屋電気学園愛名会」の会員企業 298 社に入社を決めるなど、本学の高い実就職率の基盤となっている。

また、例年、教育・研究活動等への支援として合計 400 万円の寄付を受けており、教育・研究活動に関わる支援や学生の国際交流に対する奨学金等に充てられている。